

「両家の顔合わせ」はどこでやる？ 両家を引き合わせるスタイルは変化しつつある

「結婚トレンド調査（首都圏）」より

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長 山口文洋）が企画運営する結婚情報誌『ゼクシィ』では、新婚カップルの結婚スタイルについて詳細に把握するために、毎年「結婚トレンド調査」を実施しています。1994年に首都圏で開始した調査は、年々調査地域を拡大し、現在では北海道、青森・秋田・岩手、宮城・山形、福島、茨城・栃木・群馬、首都圏、新潟、長野・山梨、富山・石川・福井、静岡、東海、関西、岡山・広島・山口・鳥取・島根、四国、九州の15地域による全国規模の調査を実施しています。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

◆「両家の顔合わせ」の実施有無は夫婦で決める割合が増加

二人の間で結婚が決まり、結婚式をするまでにやることの一つとして、「両家の顔合わせ」があり、実際に88.2%の人が実施しています。では、今どきのカップルは「両家の顔合わせ」をどのように実施しているのでしょうか。「結婚トレンド調査2016」にて、2015年4月～2016年3月までに結婚式を実施したカップルに、「結納や両家の顔合わせの実施状況」について調査しました。

【両家顔合わせの実施決定者（両家顔合わせ実施者／単一回答）】※無回答は非掲載のため100%にならない

・夫婦が決めた：88.7%（2010年調査 74.7%）

夫：4.5%（2010年調査 2.7%）
妻：6.8%（2010年調査 5.2%）
2人で：77.4%（2010年調査 66.8%）

・親など、周囲が決めた：10.7%（2010年調査 21.4%）

夫の親：6.5%（2010年調査 13.5%）
妻の親：3.0%（2010年調査 6.2%）
その他：1.2%（2010年調査 1.7%）

「両家の顔合わせ」の実施決定者は、夫・妻または2人で決めたといった、「夫婦が決めた」割合が88.7%で、2010年調査から14.0ポイント増加し、親などの周囲が決めた割合が減少しています。

「結婚は家同士のつながり」という意識の薄れも相まって、親の関与が減り、二人が主体となっているカップルが多いようです。

◆「両家の顔合わせ」実施場所が変化している

では、両家の顔合わせはどこで行っているのでしょうか。両家の顔合わせ実施会場について調査しました。

【両家顔合わせの実施会場（両家顔合わせ実施者／単一回答）】※無回答・その他は非掲載のため100%にならない

- ・料亭：38.1%（2010年調査 31.8%）
- ・レストラン：31.8%（2010年調査 26.4%）
- ・ホテル：17.6%（2010年調査 17.6%）
- ・妻の家：4.4%（2010年調査 10.9%）
- ・結婚式場：2.1%（2010年調査 4.1%）
- ・夫の家：1.5%（2010年調査 1.9%）

「両家の顔合わせ」の実施会場は、「料亭」や「レストラン」で実施している割合が高く、2010年調査から増加しています。一方で、「妻の家」で実施する割合が減少しています。

少し前までは、「妻の家」に行くカップルが一定層いましたが、今は「料亭」「レストラン」など、外部で行うカップルが多いことがみてとれます。

最近では結納と両家の顔合わせの両方を実施するカップルが減少していますが、両方実施しているカップルは、両家の顔合わせを「妻の家」で行う割合が高いことが分かっています。結納と両家の顔合わせの両方を実施するカップルの減少が、両家の顔合わせ実施場所の変化に関係している可能性があります。

結納を省略し、「両家の顔合わせ」のみ実施するカップルも増加しており、両家を引き合わせるスタイルは徐々に変化しているようです。

◆出版・印刷物ヘッダーを転載する際には、「ゼクシィ 結婚トレンド調査2016 調べ」と明記いただきますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

ブライダル総研

本調査の実査を担当する「ブライダル総研」は、を企画運営する株式会社リクルートマーケティングパートナーズおける調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

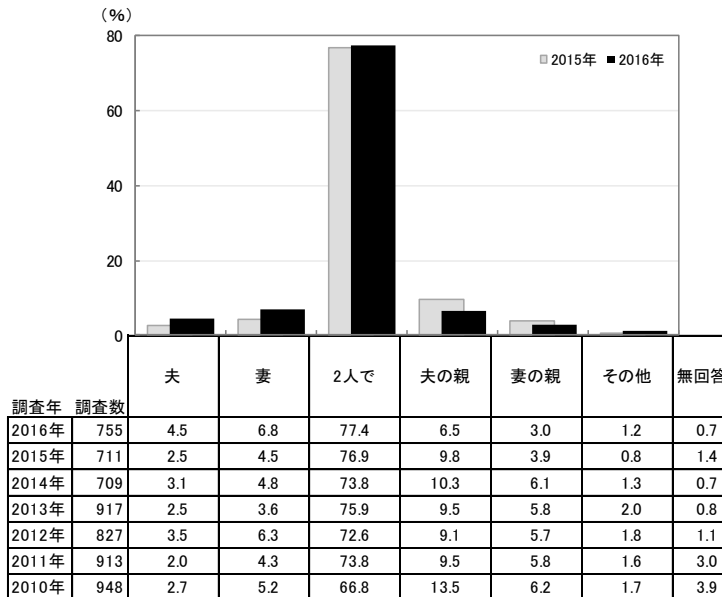
<http://bridal-souken.net/>

ブライダル総研 Research News

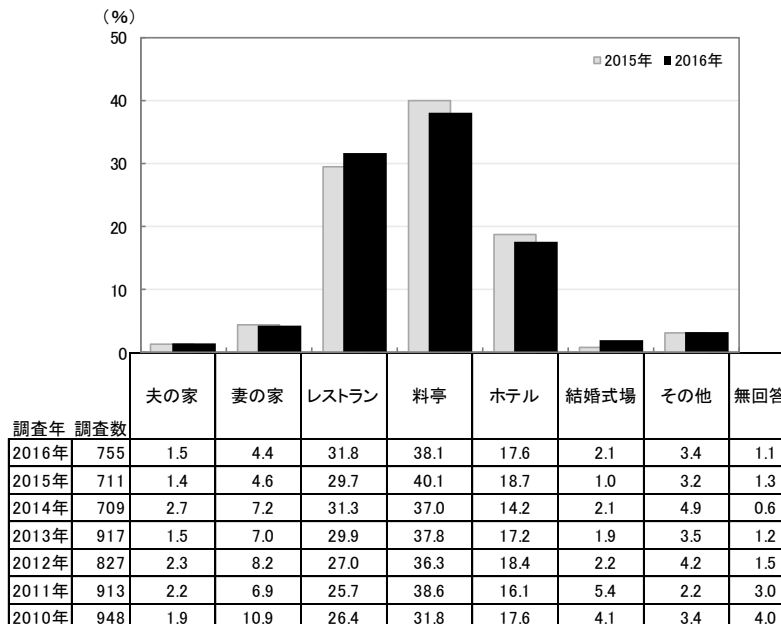
【結納・両家の顔合わせ実施状況（全体／単一回答）】

調査年	両方行った	結納のみ行った	両家の顔合わせのみ行った	どちらも行わなかった	無回答
2016年 (n=856)	9.0%	4.8	79.2		6.2
2015年 (n=794)	7.8	4.3	81.7		5.8
2014年 (n=806)	9.7	5.0	78.3		5.8
2013年 (n=1049)	11.9	6.0	75.5		5.9
2012年 (n=932)	12.7	5.7	76.1		4.9
2011年 (n=1024)	13.6	6.5	75.6		3.4
2010年 (n=1025)	17.0	3.1	75.5		4.1

【両家顔合わせの実施決定者（両家顔合わせ実施者／単一回答）】



【両家顔合わせの実施会場（両家顔合わせ実施者／単一回答）】



【調査概要】

【調査方法】 郵送法

【調査期間】 2016年4月22日～6月6日

【調査対象】 北海道、青森・秋田・岩手・宮城・山形、福島、茨城・栃木・群馬、首都圏、新潟、長野・山梨、富山・石川・福井、静岡、東海、関西、岡山・広島・山口・鳥取・島根、四国、九州の2015年4月～2016年3月に結婚（挙式・披露宴・披露パーティ）をした、もしくは結婚予定があった『ゼクシィ』読者のうち、地域ごとにランダムサンプリングし、調査票を郵送。調査票への記入は妻に依頼。 調査票発送数：13845件 調査票回収数：5521件 回収率：39.9%

【集計サンプル数】 計5223人〔北海道：330人、青森・秋田・岩手：139人、宮城・山形：205人、福島：131人、茨城・栃木・群馬：364人、首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）：856人、新潟：133人、長野・山梨：168人、富山・石川・福井：156人、静岡：203人、東海（愛知・岐阜・三重）：616人、関西（大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山）：860人、岡山・広島・山口・鳥取・島根：328人、四国（愛媛・香川・徳島・高知）：148人、九州（福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島）：586人〕

※回収されたサンプルのうち、対象期間内に挙式または披露宴・披露パーティをどちらも実施していないものは除いています。

※地域別の集計は「結婚前の妻の居住地」で行っています。

※全国集計については、各地域の婚姻件数（平成26年厚生労働省人口動態調査）に合わせてウエイトバック集計を行った推計値を掲載しています（全国く『ゼクシィ』発行地域外[沖縄]および熊本県を除く）の婚姻件数合計は626562組）。

※図表中の「-」は回答なし、「0.0」は回答はあるが単位未満を示しています。

※本文中で使用している時系列のデータは、それぞれ過去に実施した同調査のデータです。調査方法、調査対象者は本年と同様です。

※2016年調査では、2016年4月に発生した平成28年熊本地震の影響を鑑み、熊本県の調査はしていません。

※2011年調査では、2011年3月に発生した東日本大震災の影響を鑑み、「青森・秋田・岩手」「宮城・山形」「福島」「茨城・栃木・群馬」の調査は実施していません。そのため「全国（推計値）」の算出もしていません。該当項目は、図表中では「*」で表示しています。 (人)

調査年	集計サンプル数														
	北海道	青森・秋田・岩手	宮城・山形	福島	茨城・栃木・群馬	首都圏	新潟	長野・山梨	富山・石川・福井	静岡	東海	関西	岡山・広島・山口・鳥取・島根	四国	九州
2015年	336	176	259	144	396	794	148	164	173	247	797	798	387	163	719
2014年	364	194	298	131	455	806	104	219	207	203	645	806	432	187	782
2013年	489	243	329	176	480	1049	144	169	239	329	669	1078	485	201	929
2012年	454	181	290	146	450	932	147	237	232	331	620	897	582	263	1078
2011年	448	*	*	*	*	1024	176	184	295	327	705	1095	572	326	1184
2010年	486	301	314	153	460	1025	177	195	319	336	733	1097	578	380	1194

※ 山梨県は、2011年調査まで首都圏に含み集計していましたが、2012年調査から長野県と合わせ、長野・山梨として集計しています。また、鳥取県と島根県は、2012年調査まで調査対象外としていましたが、2013年調査から岡山県、広島県、山口県と合わせ、岡山・広島・山口・鳥取・島根として集計しています。さらに、熊本県は、2015年調査まで九州に含んで集計しています。